

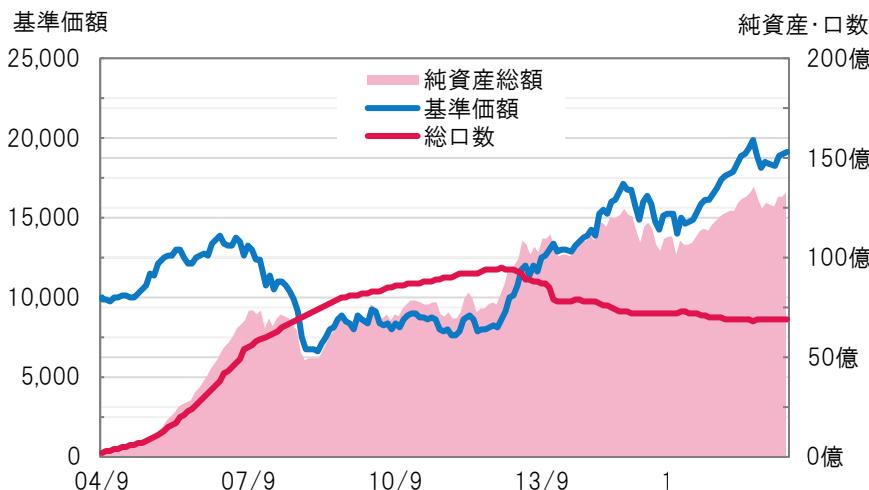
2018  
10月

# ありがとうファンド 月次運用レポート

第170号②【基準日 2018年9月28日】

39  
Arigato Asset Management Inc.

## ◆基準価額の推移



## ◆ファンドの情報

基準価額	19,219円
純資産総額	132億88百万円
口座数	4,787
積立割合	53.5%

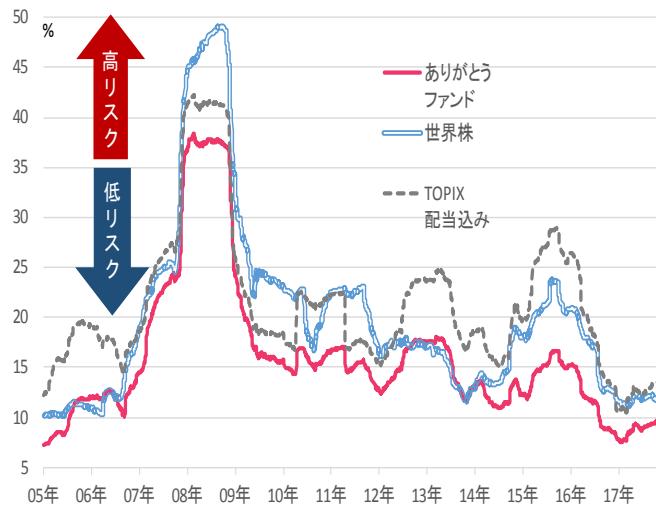


## ◆ファンドの騰落率

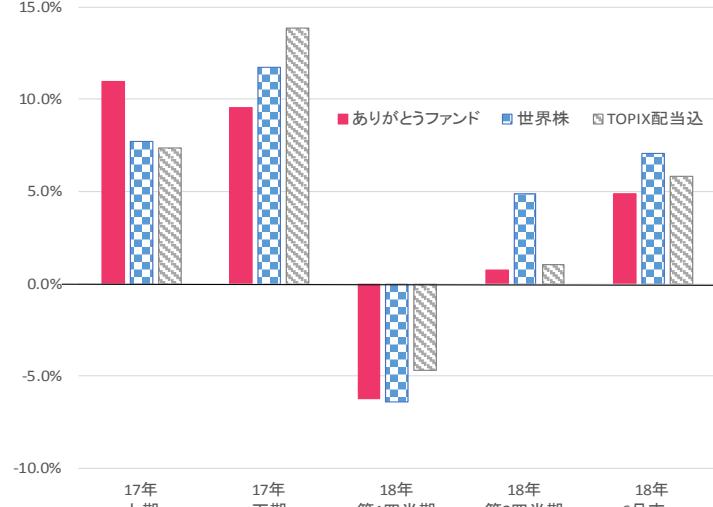
ファンド/参考指数	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来	年率複利
ありがとうファンド	+1.3%	+4.9%	+5.7%	+4.6%	+29.2%	+53.1%	+92.2%	4.75%
世界株 (MSCI ACWI, 円)	+2.9%	+7.1%	+12.3%	+11.3%	+40.6%	+80.1%	+211.8%	8.41%
TOPIX配当込み	+5.5%	+5.9%	+7.0%	+10.8%	+37.3%	+68.7%	+108.8%	5.37%

※「年率複利」は、過去の実績値であって将来の成績を保証するものではなく、またお客様ごとの購入時期によって運用結果は異なります。「年率複利」と「標準偏差」については、ありがとうファンド設定来(2004年9月1日)からのデータを基に、弊社にて計算しております。参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

## ◆値動きの大きさの推移(250営業日リスク推移)



## ◆騰落率比較(2017年年初~)

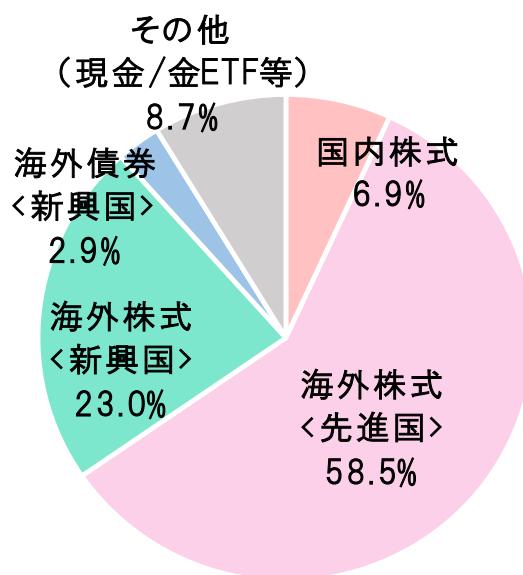


※値動きの大きさの推移について: 設定来の日次リターンを基に過去250営業日のリスク(日次リターンの標準偏差の年率換算値)の推移を表したもの。  
簡単に説明すると、数値が高いほど日々の値動きの幅が大きいことを表し、逆に数値が低いほど日々の値動きの幅が小さいことを表します。ありがとうファンドは値動きの幅を低位に抑える運用を心掛けています。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

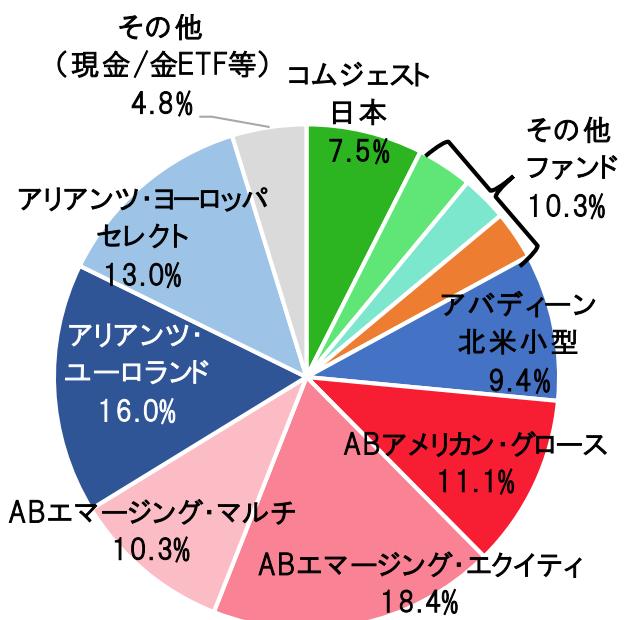
◆資産配分(8月末時点)



地域・資産	組入比率	基準値	基準比
国内株式	6.9%	6%	+0.9%
海外株式<先進国>	58.5%	55%	+3.5%
海外株式等<新興国>	25.9%	33%	-7.1%
その他（現金/金ETF等）	8.7%	6%	+2.7%



◆ポートフォリオ(9月末時点)



◆アクティブシェア(6月末時点、原則四半期末開示)

ファンド名（略称）	アクティブシェア※	参考指標
コムジェスト日本株式	87%	TOPIX
コムジェストヨーロッパ	89%	MSCIヨーロッパ
コムジェストエマージング	84%	MSCIエマージングマーケット
キャピタルリカ	開示なし	開示なし
アバディーン北米小型	96%	ラッセル2000
ABアメリカン・グロース	70%	ラッセル1000グロース
ABエマージング・エクイティ	72%	MSCIエマージングマーケット
ABエマージング・マルチ	株式73% 債券26% <sup>(注1)</sup>	なし
アリアンツ・ユーロランド	69%	S&Pユーロゾーン・ ラージミッドキャップ・グロース
アリアンツ・ヨーロッパセレクト	68%	S&Pヨーロッパ・ ラージキャップ・グロース

※アクティブシェアとは、各ファンドのベンチマークもしくは参考指標に対して異なる割合を表しています。上記のアクティブシェアは各ファンドの運用会社の開示を基に掲載しています。注1：AB エマージング・マルチファンドについては、株式と債券複合の運用で参考指標がないため、参考までに各資産の組入比率を開示しています。



◆直近のマーケット動向について



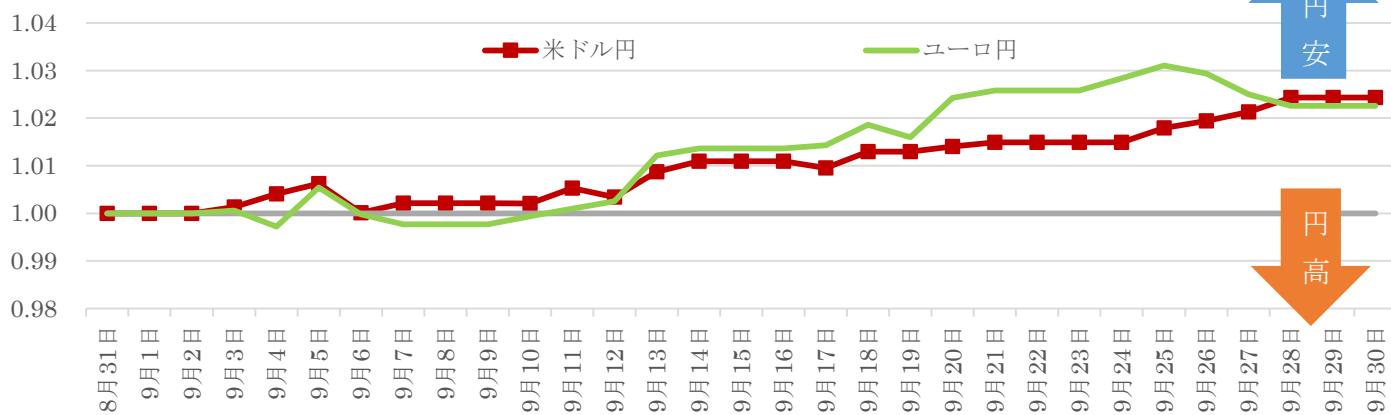
9月のマーケットはどうだったの?

自民党総選挙では安倍首相が石破氏を破り3選したけど…。

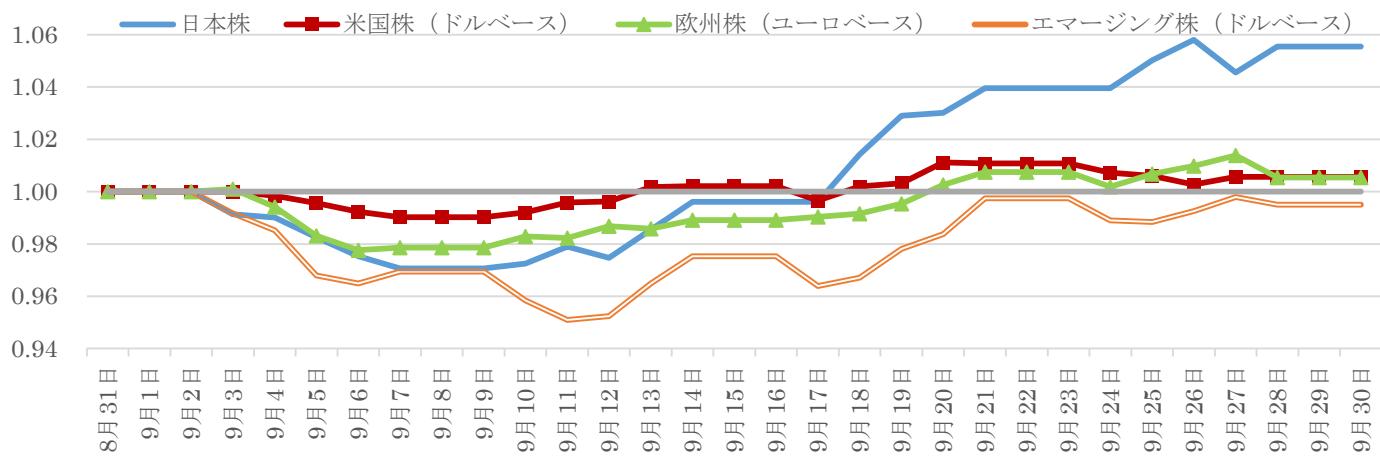


9月のマーケットの動きですが、米中貿易摩擦関連の悪材料出尽くしたこと、自民党総選挙で事前の予想通り安倍総理が勝ったことなどから日本株市場が強い一ヶ月でした。序盤は米中貿易摩擦激化懸念で、世界株式市場は総じて下落基調で推移しました。中盤にかけては、米国が中国に対して新たな貿易交渉を提示したと報じられたことなどから、米中貿易摩擦激化懸念がやや薄れ、反転上昇しました。特に日本株式市場では、円安も同時に進行したことや、自民党総選挙に対する期待などから、他の国・地域市場と比べて大きく上昇しました。後半では、9月20日の自民党総選挙で事前の予想通り安倍総理が勝ったことで、他の国・地域と比べて政権が安定していることなどが投資家の安心感につながり、日本株市場は上昇したまま月を終えました。その他の株式市場では、月初と同水準で月末を向かえました。

【米ドル円、ユーロ円推移】2018年8月31日を1として指数化



【主要株式指数推移(配当込、現地通貨ベース)】2018年8月31日を1として指数化



※ ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて指指数化しております。(使用している指数についてはレポート最終ページの注記を確認ください。)

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

上記現地通貨ベースの指標推移を参考していただくと、結果的に日本株式市場の一人勝ちだったことが確認いただけると思います。



ありがとうファンドの運用はどうでしたか？

ありがとうファンドの9月間騰落率は1.3%の上昇となりました。上昇はしましたが、今月大きく上昇した日本株式の保有割合が比較的低位だったため、世界株式市場の上昇(+2.9%)に比べて、出遅れる形になりました。



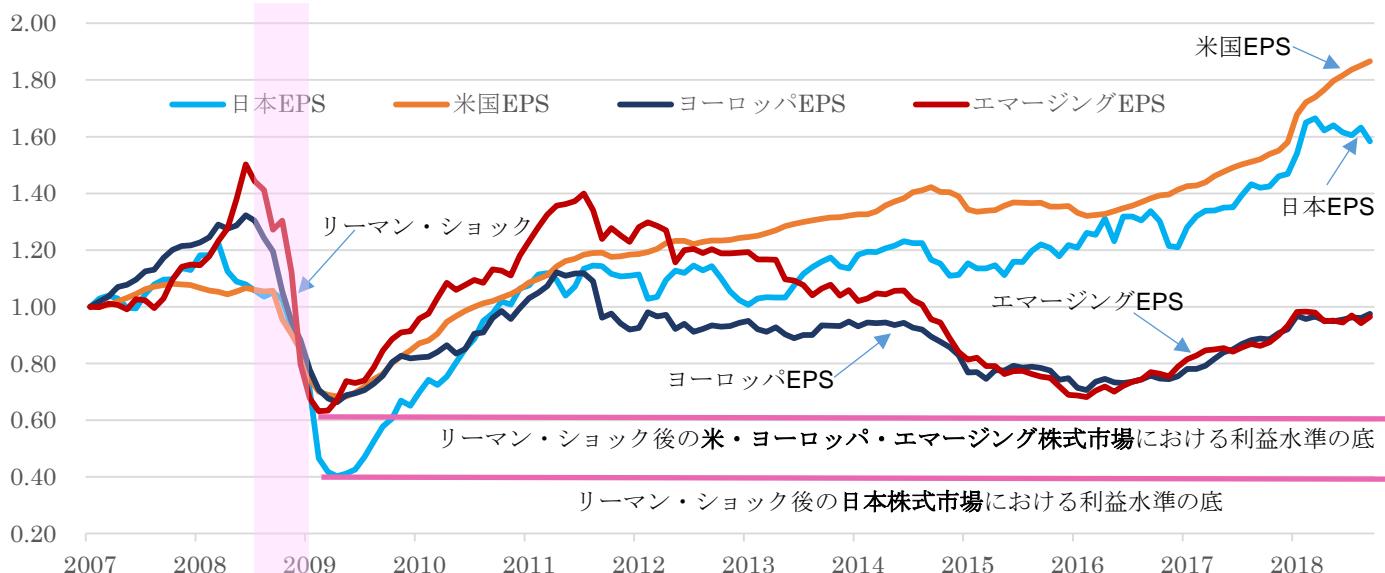
9月中の売買状況については、昨年からありがとうファンド全体の信託報酬を下げるべく信託報酬が安くかつ優れた運用パフォーマンスを有するファンドの組入を開始した背景から、コムジェスト・ヨーロッパを一部売却し、AB エマージング・エクイティファンドを買付けました。また、参考までにですが昨年から組入を開始した[アリアンツファンド](#)と[AB ファンド](#)の紹介アップデートを『ありがとうブログ』に掲載しましたので、こちらもご参照いただけますと幸いです。



今後の見通しについてはどうなっているのかね？教えてもらえないだろうか。



今後の見通しについては、各種地政学リスクなど一過性のイベントはあるものの世界経済は引き続きリーマン・ショックからの回復・成長が続くと考えています。ファンダメンタルズの改善に基づいた企業利益の成長がより注視される市場になるでしょう。下図ではリーマン・ショック前からの4国・地域のEPS(1株当たり利益)の水準をまとめました。足元5年ほど低迷していたエマージング市場とヨーロッパ市場は底を打ち活気を取り戻はじめたように見えます。



出所：ファクトセットよりありがとう投信計算、EPS は 2007 年 1月末を 1 として指数化し 2018 年 9 月末までの推移

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 304 号 一般社団法人投資信託協会会員

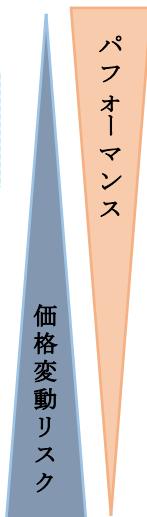
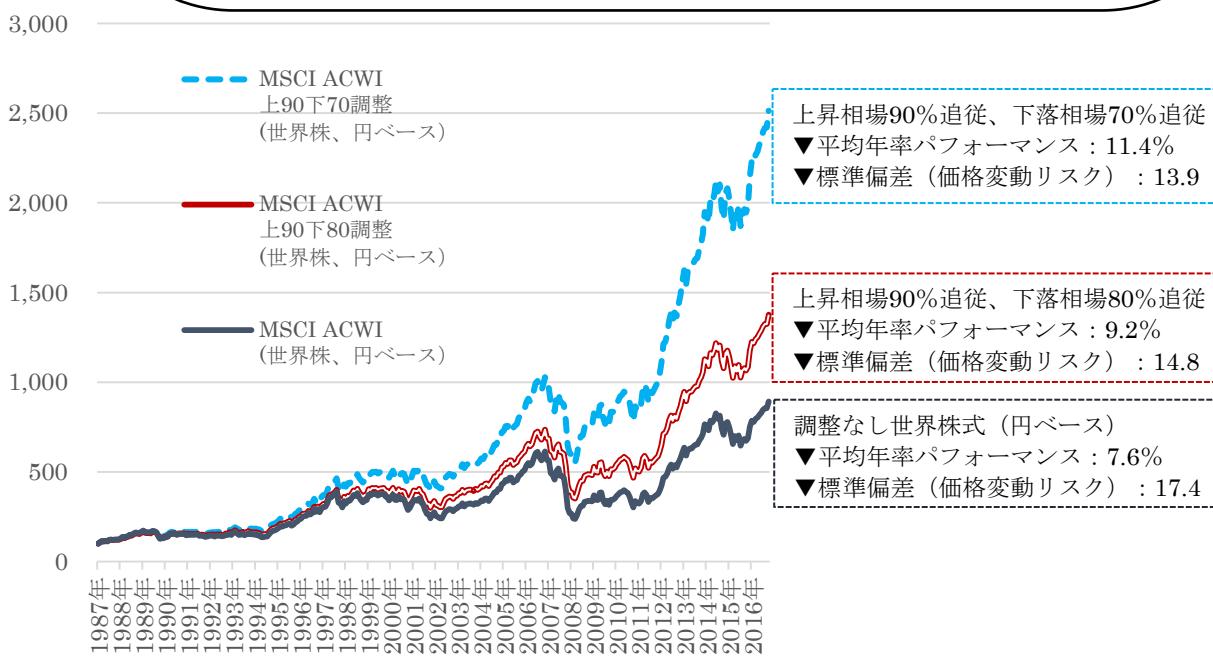
このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。



今後の運用方針についてはどうなっているのかしら。教えてちょうだい。

株式市場という観点から足元の状況を考えると、リーマン・ショック後各国・地域は量的緩和などの金融緩和で各々の経済・市場を支え世界的に力余りの状況が続いています。リターンを求めてやや過熱感のある市場も出てきました。このような環境下では一つの市場だけに投資することはリスクが高く、特定の市場に過度に偏ることなく幅広く分散投資することにより長期的に持続性のあるリターンを享受できると考えております。ありがとうファンドでは、世界経済の成長をグローバル市場で競争力のある企業の成長に沿った形で享受できるよう、国際分散・厳選・長期投資を継続していきます。

アクティブランドというと上昇局面で大きく稼ぐといった派手なイメージが強いと思いますが、ありがとうファンドでは上昇局面で無理に上値を狙うといった運用よりは市場全体が下落する局面にて市場相対で下げ幅を抑制することにより結果的に長期で安定したパフォーマンスを提供できると考えております。その源泉としては、①実績のある投資先ファンドによる成長企業の厳選、②国・地域別資産配分の見直し・調整、③金 ETF など株式市場と相関が低い資産を組み入れることによる資産分散を主に考えております。下図はあくまでも参考までにですが、上昇局面では 90%ほど市場に追従し、下落局面では下落幅を抑制した場合のバックテスト例になります。ダウンサイドリスクを抑制することにより、長期で価格変動リスクを抑えながら運用パフォーマンスを向上できたことが確認いただけると思います。



出所：ファクトセットよりありがとう投信計算、株価は1987年年初を100として指数化し2017年9月末までの推移

注：上昇・下落局面は月次騰落率ベースで判断。平均年率パフォーマンスと標準偏差についても月次ベースのデータから計算

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

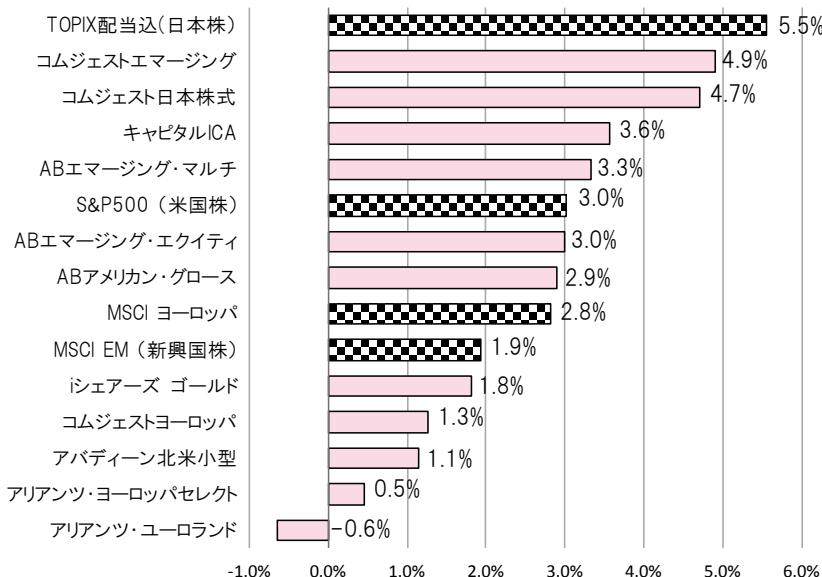


投資先ファンドの状況についても気になる！教えて！教えて！

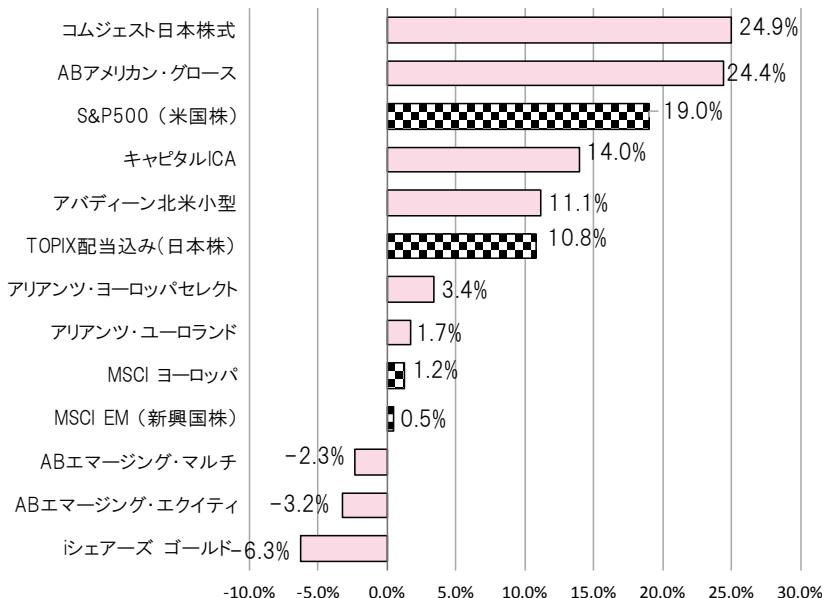


まずは、投資先ファンドの月間と年間の騰落率(円ベース比較)をご覧ください(2018年9月末時点)

### 【月間騰落率】



### 【年間騰落率】



※ 上記参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、

弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

月間騰落率については、米国株式を主な投資対象としているキャピタルICAファンドと新興国株式を主な投資対象としているコムジェスト・エマージング、AB エマージング・エクイティ、AB エマージング・マルチファンドが各種参考指数(円ベース)に対しアウトパフォームしましたが、それ以外のファンドが各種参考指数(円ベース)に対してやや低調な結果になりました。

米国の小型株を主な投資対象としているアバディーン北米小型ファンドでは、米国内で稼ぐ比較的小さな規模の上場企業に投資しています。トランプ政権による減税や、規制緩和などは米国内の中小企業に恩恵が大きいと言われていて、年初から米国小型株は堅調に推移してきました。今月も上昇したものの、S&P500 指数などに組み入れられている米国大型株と比べるとやや見劣りする結果になりました。

一方、新興国株式を主な投資対象としている3ファンドについては、米中貿易摩擦激化を織り込んだ結果、先月まで大きく値を下げていたところから反発して上昇しました。

マーケットが楽観的な時も悲観的な時も、長期投資はじっくりコツコツ続けていくことが大切です！時間を味方に付けて、ご一緒に国際分散投資で資産運用していきましょう！何かご不明な点がございましたら、お気軽に弊社までお問合せください。(ありがとうファンド運用担当者)



## ◆投資先ファンドの運用パフォーマンス

#	投資先ファンド	主要投資地域	組入比率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	年率複利(5年)
1	コムジェスト日本株式 <i>TOPIX 配当込み</i>	日本	7.5%	+4.7%	+6.0%	+7.5%	+24.9%			
				+5.5%	+5.9%	+7.0%	+10.8%	+37.3%	+68.7%	+11.2%
2	ABアメリカン・グロース	米国	11.1%	+2.9%	+9.3%	+20.8%	+24.4%	+58.2%	+151.3%	+20.6%
3	キャピタルICA	米国	3.1%	+3.6%	+7.2%	+15.4%	+14.0%			
4	アバディーン北米小型 <i>S&amp;P500 (米国、円)</i>	米国	9.4%	+1.1%	+8.3%	+19.9%	+11.1%	+48.0%	+116.2%	+17.0%
				+3.0%	+10.5%	+19.0%	+19.0%	+53.1%	+122.4%	+17.6%
5	コムジェスト ヨーロッパ	欧州	3.5%	+1.3%	+9.3%					
6	アリアンツ・ユーロランド グロース	欧州	16.0%	▲0.6%	+1.7%	+6.3%	+1.7%	+28.6%	+63.1%	+10.5%
7	アリアンツ・ヨーロッパ セレクト <i>MSCI EUROPE (ヨーロッパ 円)</i>	欧州	13.0%	+0.5%	+2.1%	+8.3%	+3.4%	+24.2%	+60.6%	+10.1%
				+2.8%	+3.4%	+6.8%	+1.2%	+20.7%	+42.8%	+7.5%
8	コムジェスト エマージング	エマージング	2.9%	+4.9%	+3.3%					
9	ABエマージング ・エクイティ	エマージング	18.4%	+3.0%	+2.5%	▲3.3%	▲3.2%	+25.3%		
10	ABエマージング ・マルチ <i>MSCI EM (新興国株、円)</i>	エマージング	10.3%	+3.3%	+3.1%	▲1.9%	▲2.3%	+21.2%	+42.4%	+7.4%
				+1.9%	+1.6%	▲2.5%	+0.5%	+36.0%	+40.8%	+7.2%
11	iシェアーズ ゴールド・ トラスト	金ETF	1.5%	+1.8%	▲2.5%	▲4.1%	▲6.3%	+0.6%	+2.6%	+0.5%

注:参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

### 積立投資のメリット



◆取得単価を平準化

◆時間分散でリスクを低減

◆長期で投資を継続しやすい

## ◆各投資先ファンドの組入銘柄 TOP5

◎コムジェスト日本株式ファンド

マザーファンド株式組入上位5銘柄

銘柄	国	業種	事業内容	9月28日時点 組入比率
1 フアーストリテイリング	日本	一般消費財・サービス	カジュアル衣料専門店「ユニクロ」をグローバルに展開する。近年はアジアなど海外での店舗数拡大を加速	4.3%
2 ピジョン	日本	生活必需品	育児用品の大手。主力商品の哺乳器では国内で7割超のシェアを持ち、おりふきや母乳バッドなど幅広い商品を扱う。介護用品の仕入・販売、保育所の運営など子育て支援サービスも展開。海外進出にも積極的。	3.7%
3 シスメックス	日本	ヘルスケア	血液検査・免疫血清検査・尿検査・生化学検査等に必要な機器・試薬や、これに連関するソフトウェアなどの研究開発から製造・販売・サービス＆サポートまでを手がける臨床検査の総合メーカー。	3.6%
4 ポーラ・オルビスホールディングス	日本	生活必需品	大手化粧品会社グループ。高級スキンケア中心のポーラ、オイルカット(無油分)コンセプトに基づく中価格スキンケア中心のオルビスを主軸に、複数ブランドを展開する。	3.5%
5 キーエンス	日本	情報技術	FA(ファクトリーオートメーション=工場自動化)用センサーはじめとする各種センサー、測定器、画像処理機器、制御・計測機器、研究開発用解析機器などの開発、製造、販売を行う。	3.4%

◎コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド

マザーファンド株式組入上位5銘柄

銘柄	国	業種	事業内容	9月28日時点 組入比率
1 アマデウスITグループ	スペイン	情報技術	旅行予約管理からチェックインなどのプロセス管理まで旅行業に特化したトラベルテクノロジー企業	6.9%
2 インディテックス	スペイン	一般消費財・サービス	日本ではZARAで有名。世界のファッショナブルのリーディングカンパニーの一つ	5.8%
3 エシロールインターナショナル	フランス	ヘルスケア	光学製品メーカー、世界56か国に展開、遠近両用レンズのVariluxで有名	5.3%
4 コロプラス	デンマーク	ヘルスケア	1957年にデンマークで誕生したグローバルヘルスケア企業、ストーマケア製品に強み	4.7%
5 SAP SE	ドイツ	情報技術	エンタープライズ・アプリケーション・ソフトウェア(EAS)の分野で世界を代表する企業、多くの製品と関連サービスを世界各国で提供する。	4.5%

◎コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド

マザーファンド株式組入上位5銘柄

銘柄	国	業種	事業内容	9月28日時点 組入比率
1 台湾セミコンダクター(TSMC)	台湾	情報技術	世界最大の半導体専業ICファンドリーメーカー	7.3%
2 ピンアン・インシュアランス(中国平安保険)	中国	金融	生命保険、損害保険、銀行、証券等の事業を手掛ける中国の金融機関。	5.3%
3 バイドゥ(百度)	中国	通信サービス	インターネット検索(サーチ)エンジン「百度baidu.com」を運営。インターネット検索ソリューション、オンライン・マーケティング・ソリューションを手掛けるほか、オンライン決済プラットフォームも提供する。	3.8%
4 コグニザント・テクノロジー・ソリューションズ	アメリカ	情報技術	情報技術(IT)、コンサルティング、ビジネスプロセス・アウトソーシングの各サービスを提供する。	3.6%
5 ネットイース(網易)	中国	通信サービス	オンラインゲームやインターネットサービスを手掛ける。オンラインゲーム事業、広告サービス事業、電子メール・無線付加価値サービス・その他事業の3事業を展開。	3.6%



弊社はありがとうファンド1つのみ!

お客様のペースに併せて

長期でじっくりお客様の資産を育てていきます



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

◎キャピタル・グループ・インベストメント・カンパニー・オブ・アメリカ(ICA)

銘柄	国	業種	事業内容	8月31日時点 組入比率
1 AbbVie	アメリカ	ヘルスケア	研究・開発に重点的に取り組むバイオ医薬品会社。幅広い独自医薬品の発見、開発、製造、販売を行う。	5.7%
2 MICROSOFT	アメリカ	情報技術	Windowsに代表される基本ソフト(OS)を開発し、各種デバイス(PCやタブレット他)、サーバ、携帯電話、インテリジェントデバイス向けに提供。また、パソコン、タブレット、携帯電話、ゲーム機などの製品も開発、販売している。	3.8%
3 ALPHABET	アメリカ	テクノロジー	グーグルの新たな持株会社として、2015年10月2日に設立された。新運営体制におけるグーグルのメイン事業(グーグル事業)には、検索、広告、地図、アプリ、YouTube、Android(アンドロイド)および関連技術インフラが含まれる。	3.8%
4 AMAZON	アメリカ	一般消費財	オンラインの小売事業者。オンライン広告や提携クレジットカード契約など、他のマーケティングや販売促進サービスも提供する。	2.9%
5 FACEBOOK	アメリカ	テクノロジー	SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス=交流サイト)の「フェイスブック」を運営。利用者は、「フェイスブック」を利用することで、家族や友人と情報を共有したり、コミュニケーションをとることができます。	2.8%

◎アライアンス・バーンスタイン・アメリカン・グロース・ポートフォリオ

銘柄	国	業種	事業内容	8月31日時点 組入比率
1 ALPHABET, INC.	アメリカ	テクノロジー	グーグルの新たな持株会社として、2015年10月2日に設立された。新運営体制におけるグーグルのメイン事業(グーグル事業)には、検索、広告、地図、アプリ、YouTube、Android(アンドロイド)および関連技術インフラが含まれる。	8.5%
2 VISA, INC. Class A	アメリカ	金融サービス	グローバルなペイメント(決済)テクノロジー会社。高速かつ安全、信頼性の高い電子決済で消費者、企業、銀行、政府、地域を結ぶ役割を果たす。	5.5%
3 FACEBOOK, INC. Class A	アメリカ	テクノロジー	SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス=交流サイト)の「フェイスブック」を運営。利用者は、「フェイスブック」を利用することで、家族や友人と情報を共有したり、コミュニケーションをとることができます。	5.3%
4 HOME DEPOT, INC.	アメリカ	一般消費財	建築資材やホームインプレメート(住まいを良くするための)製品を販売するホームセンター。豊富な種類の各種建築資材、ホームインプレメート製品、芝生＆ガーデニング用製品を販売するほか、多くのサービスを提供する。	4.5%
5 UNITEDHEALTH GROUP, INC.	アメリカ	ヘルスケア	医療保険、ソフトウェア、データコンサルティングサービスを提供する。	4.1%

◎アライアンス・バーンスタインSICAV I -エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ

銘柄	国	業種	事業内容	8月31日時点 組入比率
1 TENCENT HOLDINGS LTD.	中国	情報技術	中国のインターネットサービス会社の大手。ソーシャルプラットフォームを運営するほか、デジタルコンテンツサービスを提供する。VAS(付加価値サービス)、インターネット広告、その他の3セグメントで事業を展開。	5.9%
2 TSMC	台湾	情報技術	世界最大の半導体専業ICファンドリーメーカー	4.5%
3 SAMSUNG ELECTRONICS CO., LTD.	大韓民国	情報技術	電子機器やコンピュータ関連製品の製造・販売を手掛ける。事業部門は、民生エレクトロニクス、IT(情報技術)・移動体通信、デバイス・ソリューションの3つ。	4.4%
4 ALIBABA GROUP HOLDING LTD.	中国	情報技術	インターネット・ソリューションの3つ。インターネット・ソリューションの3つ。	3.2%
5 CHINA PETROLEUM & CHEMICAL CORP	中国	エネルギー	石油・石油化学製品の精製、生産、販売会社。ガソリン、ディーゼル、ジェット燃料、灯油、エチレン、合成繊維、合成ゴム、合成樹脂、化学肥料を提供する。中国で事業を展開。	2.9%

◎アライアンス・バーンスタインSICAV I -エマージング・マーケット・マルチアセット・ポートフォリオ

銘柄	国	業種・種類	債券格付け・事業内容など	8月31日時点 組入比率
1 ALIBABA GROUP HOLDING LTD.	中国	情報技術	インターネット・ソリューションの3つ。	3.2%
2 TENCENT HOLDINGS LTD.	中国	情報技術	中国のインターネットサービス会社の大手。ソーシャルプラットフォームを運営するほか、デジタルコンテンツサービスを提供する。VAS(付加価値サービス)、インターネット広告、その他の3セグメントで事業を展開。	2.8%
3 SAMSUNG ELECTRONICS CO., LTD.	大韓民国	情報技術	電子機器やコンピュータ関連製品の製造・販売を手掛ける。事業部門は、民生エレクトロニクス、IT(情報技術)・移動体通信、デバイス・ソリューションの3つ。	2.5%
4 TSMC	台湾	情報技術	世界最大の半導体専業ICファンドリーメーカー	2.3%
5 CHINA PETROLEUM & CHEMICAL CORP	中国	エネルギー	石油・石油化学製品の精製、生産、販売会社。ガソリン、ディーゼル、ジェット燃料、灯油、エチレン、合成繊維、合成ゴム、合成樹脂、化学肥料を提供する。中国で事業を展開。	2.2%

◎アリアンツ・ユーロランド・エクイティ・グロース

銘柄	国	業種	事業内容	8月31日時点 組入比率
1 SAP SE	ドイツ	情報技術	エンタープライズ・アプリケーション・ソフトウェア(EAS)の分野で世界を代表する企業、数多くの製品と関連サービスを世界各国で提供する。	6.4%
2 AMADEUS IT GROUP SA	スペイン	情報技術	旅行予約管理からチェックインなどのプロセス管理まで旅行業に特化したトラブルテクノロジー企業	6.2%
3 ASML HOLDING NV	オランダ	情報技術	半導体業界向けのリソグラフィーシステムの製造、取引を手がけるほか、集積回路やチップの製造に使用される装置を開発する。	4.6%
4 INFINEON TECHNOLOGIES AG	ドイツ	情報技術	自動車や産業用電力、チップカード、セキュリティー向けの半導体やシステムソリューションの製造を手掛ける。自動車、産業用電力制御、マルチマーケット電力管理、チップカード・セキュリティー、その他の各部門を通じ事業を展開。	4.2%
5 LVMH MOËT HENNESSY LOUIS VUITTON SE	フランス	一般消費財	LVMHモエ・ヘネシー・ヴィトン(LVMH Moët Hennessy Louis Vuitton SE)は、多角化した高級品のグループ。ワインやコニャックなどの酒類をはじめ、香水、化粧品、旅行かばん、時計・宝石類の製造・販売を手掛ける。	4.2%

◎アリアンツ・ヨーロッパ・エクイティ・グロース・セレクト

銘柄	国	業種	事業内容	8月31日時点 組入比率
1 SAP SE	ドイツ	情報技術	エンタープライズ・アプリケーション・ソフトウェア(EAS)の分野で世界を代表する企業、数多くの製品と関連サービスを世界各国で提供する。	6.8%
2 INFINEON TECHNOLOGIES AG	ドイツ	情報技術	自動車や産業用電力、チップカード、セキュリティー向けの半導体やシステムソリューションの製造を手掛ける。自動車、産業用電力制御、マルチマーケット電力管理、チップカード・セキュリティー、その他の各部門を通じ事業を展開。	5.0%
3 NOVO NORDISK A/S-B	デンマーク	ヘルスケア	90年以上にわたり糖尿病ケアの革新をリードしてきた製薬会社。インスリンのマーケットシェアは5割前後に至る	4.8%
4 PRUDENTIAL PLC	イギリス	金融サービス	保険と金融サービスを手がける持株会社。アジア、米国、英国で主要な活動を行なう国際金融サービスグループとして、リテール向けの金融商品、サービスと資産運用サービスを提供する。	4.4%
5 AMADEUS IT GROUP SA	スペイン	情報技術	旅行予約管理からチェックインなどのプロセス管理まで旅行業に特化したトラブルテクノロジー企業	4.2%

◎アバディーン・グローバル・ノースアメリカン・スマーラーカンパニーズ・ファンド

銘柄	国	業種	事業内容	8月31日時点 組入比率
1 EMERGENT BIOSOLUTIONS INC	アメリカ	ヘルスケア	グローバルな特殊バイオ医薬品メーカー。生物学的・化学的の脅威や新興感染症用の医療対策の製品ポートフォリオを開発、製造、提供する。病院、診療所向けに治療法やその他特殊製品の開発・商品化も手掛ける。	3.2%
2 PAYLOCITY HOLDING CORP	アメリカ	情報技術	クラウドベースの給与・人材管理会社。中規模機関向けのソフトウェア・ソリューションであるHCMも提供する。	2.9%
3 EXLSERVICE HOLDINGS INC	アメリカ	情報技術	IT関連サービス会社。業務処理アトソーシングソリューションを海外で提供する。主に銀行、金融サービス、保険の分野において世界各地の1000社を超える企業向けに事業を展開。	2.7%
4 WSFS FINANCIAL CORP	アメリカ	金融	主要な会社である Wilmington Savings Fund Society, FSB を通じ、米国デラウェア州のニューキャッスル郡やドーバー市のほか、ペンシルベニア州のフェアチャーチ、デラウェア、モンゴメリーの各郡にある店舗網を運営。	2.7%
5 FOX FACTORY HOLDING CORP	アメリカ	一般消費財	高性能サスペンション・メーカー。主に、マウンテンバイク、サイド・バイ・サイド・ビーカー、オフロード機能搭載の普通車、オフロード車両、トラック、全地形対応車(ATV)、スノーモービル、特殊車両・特殊用途、オーデバイに使用される。	2.6%

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

## ◆ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象ではありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.972%(税抜 0.9%)の率を乗じて得た額とします。 【実質的信託報酬】信託財産の純資産総額に対し年 1.6%±0.2%(概算) ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他 費用	当ファンドに組み入れるファンドを売買する際に発生する売買委託手数料およびこれにかかる消費税相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。 ※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧下さい。目論見書のご請求は、ありがとう投信(株)カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。

※資料に記載されている各国・地域市場の指數は他に断りの無い限り以下の指數を使用しています。

【日本株】→TOPIX配当込み

【世界株】→MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックストータルリターン

【米国株】→S&P500 トータルリターン

【欧州株】→MSCI ヨーロッパ トータルリターン

【エマージング株】→MSCI エマージング トータルリターン



### ■R&I ファンド大賞について

「R&I ファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。